SONY

3-081-943-**01** (1)

ビデオアクセサリーキット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ACCKIT-BCM5

InfoLITHIUM M SERIES

ビデオアクセサリーキットには以下のものが含まれています。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FM50

電源コード

ACアダプター／チャージャー AC-VQ50

接続コード DK-215

トートバッグ型キャリングケース LCS-BCA

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは

“ インフォリチウム ”に対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能をもった新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。

“ インフォリチウム ”バッテリーにはInfoLITHIUMロゴの表記がある“ インフォリチウム ”対応の機器との組み合わせをおすすめします。

“ インフォリチウム ”対応機器と組み合わせて使用すると、バッテリー残量時間*が「分単位」で表示されます。

* 残量時間は、使用状況や環境により正しく表示されない場合があります。“ インフォリチウム ”対応でない機器でお使いになった場合は、通常の表示になります。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

ACアダプター／チャージャーの「使用可能時間表示についてのご注意」（必ずお読みください）

本機は充電器として使用中、以下の条件を満たせば、充電中のバッテリーをお手持ちのビデオカメラで使用した場合の使用可能時間を表示します。
- “ インフォリチウム ”バッテリーを使用している
- お手持ちのビデオカメラが“ インフォリチウム ”対応機種である

お手持ちのバッテリーにInfoLITHIUMマークが付いているかご確認ください。また、お手持ちのビデオカメラの取扱説明書で“ インフォリチウム ”対応機種かどうかご確認ください。

複数の“ インフォリチウム ”対応のビデオカメラをお使いの場合は、最後にバッテリーを取り付けていたビデオカメラでの使用時間を表示します。

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会ホームページhttp://www.baj.or.jp/を参照してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

●安全のための注意事項を守る

●定期的に点検する

1年に1度は、ACアダプター／チャージャーの電源プラグ部に異常がないか、故障したまま使用していないか、また、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

●故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACアダプター／チャージャーなどが破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターに修理をご依頼ください。

●万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら ➡
1. ACアダプター／チャージャーの電源プラグをコンセントから抜く
2. テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災、感電、破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号 **行為を禁止する記号** **行為を指示する記号**

火災 感電 禁止 分解禁止 接触禁止 風呂・シャワー室での使用禁止 プラグをコンセントから抜く

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

- 指定された充電器以外で充電しない。（禁止）
- 火の中に入れない。ショート（短絡）させたり、分解しない。電子レンジやオーブンなどで加熱しない。コインやヘアピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管すると⊖と⊕の端子に接触し、ショート（短絡）することがあります。（禁止 分解禁止）
- 火のそばや炎天下、高温になった車の中などで充電したり、放置しない。（禁止）
- バッテリーパックから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- バッテリーパックを水の中に入れたり、バッテリーパック、ACアダプター／チャージャーの内部に水を入れたりしない。（禁止）
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡れたバッテリーパックを充電したり、使用したりしないでください。（禁止）

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させるなど、強い衝撃を与えない。

禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

分解禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、ACアダプター／チャージャーの電源プラグをコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

禁止

水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でバッテリーパックを濡らさない

感電の原因となります。（禁止）

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。（禁止）
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く。

万一、コードが傷んだら、テクニカルインフォメーションセンターに交換をご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない。

感電の原因となります。（接触禁止）

水のある場所に置かない。

ACアダプター／チャージャーやバッテリーパックに水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使ったりすると、火災や感電の原因となります。（風呂・シャワー室での使用禁止）

火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置したり充電したりしない。

危険防止の保護回路が壊れることがあります。（禁止）

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。（禁止）

指定以外のACアダプター／チャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。（禁止）

ぬれた手でACアダプター／チャージャーをさわらない

感電の原因となることがあります。（禁止）

長期間使用しないときは、ACアダプター／チャージャーをはずす

長期間使用しないときはACアダプター／チャージャーの電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをはずして保存してください。火災の原因となることがあります。（プラグをコンセントから抜く）

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。（プラグをコンセントから抜く）

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。（禁止）

コード類は正しく配置する

電源コードや接続コードは足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。（禁止）

通電中のACアダプター／チャージャー、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。（禁止）

ACアダプター／チャージャーを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。（禁止）

バッテリー本体を持ってビデオ機器などを持ち運ばない

ビデオ機器やACアダプター／チャージャーにバッテリーを取り付けた後、バッテリー本体を持ってビデオ機器などを持ち運ばないでください。（禁止）

使用上のご注意

充電について
- 専用バッテリー以外の充電には使わないでください。
- バッテリーはしっかり取り付けてください。

> 充電するときの温度
> 室温が0℃〜40℃の範囲で充電できますが、電池の性能を充分に発揮させるためには、10℃〜30℃での充電をおすすめします。10℃〜30℃以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。
- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- ダッシュボードの上など直射日光の当たる場所、熱器具の近くは変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所や放射線のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になります。

使用について
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。
  ビデオカメラが正しく録画・再生できないことがあります。
- バッテリー保護のため、充電が完了しましたら、24時間以内に本機からバッテリーを取りはずしてください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- TVやAMラジオやチューナーの近くで使わないでください。
  TVやラジオ、チューナーに雑音が入ることがあります。
- 本機はコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電源を遮断してください。
- 本機や接続コードの接点部に他の金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- 本機を海外旅行者用の「電子式変圧器（トラベルコンバーター）」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- 使用後は必ず電源コードをコンセントから抜いておいてください。抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

お手入れについて
- 汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装を傷めたりすることがあります。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

ビデオカメラなどが動作しない
- 電源プラグがコンセントから外れている。
  → コンセントに差し込む。
- 接続コードを正しく接続していない。
  → 正しくつなぐ。
- モード切替スイッチが「充電」になっている。
  →「ビデオ／カメラ」にする。

バッテリーの充電が行われない
- モード切替スイッチが「ビデオ／カメラ」になっている。
  →「充電」にする。

バッテリーの残量が充分あるのに電源がすぐ切れる、または残量表示時間とずれが生じる
- もう一度満充電する。
  → 残量が正しく表示されます。

表示切替えが行われない
→「使用可能時間表示についてのご注意」をお読みください。

充電ランプが点滅し、表示窓に“ 充電異常 ”と表示される
→ 下記の手順に従って確認してください。

主な仕様

ACアダプター／チャージャー AC-VQ50

定格入力	AC100–240V、50/60 Hz、25W 0.40A（VTR） 0.35A（充電）
定格出力	DC8.4V、2.0A（VTR） DC8.4V、1.4A（充電）
動作温度	0℃〜＋40℃
保存温度	−20℃〜＋60℃
最大外形寸法	約88×47×80mm（幅／高さ／奥行き）
質量	約180g

リチャージャブルバッテリーパック NP-FM50

使用電池	リチウムイオン蓄電池
最大電圧	DC8.4V
公称電圧	DC7.2V
容量	8.5 Wh（1 180 mAh）
使用温度	0℃〜＋40℃
最大外形寸法	約38.2×20.5×55.6mm（幅／高さ／奥行き）
質量	約76g

同梱品

リチャージャブルバッテリーパック NP-FM50（1個）
ACアダプター／チャージャー AC-VQ50（1個）
電源コード（1本）
接続コード DK-215（1本）
取扱説明書（1部）
保証書（1部）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書
- ACアダプター/チャージャーAC-VQ50には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオアクセサリーキットの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

お問い合わせ窓口のご案内

■テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

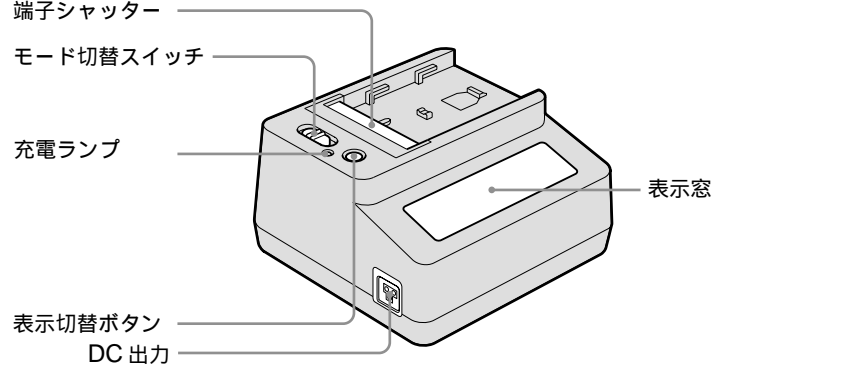
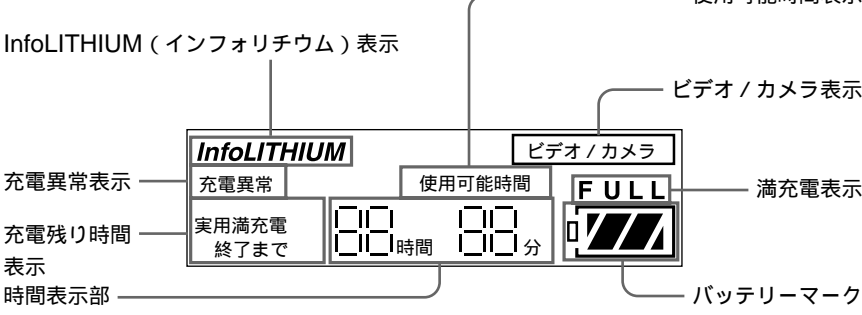
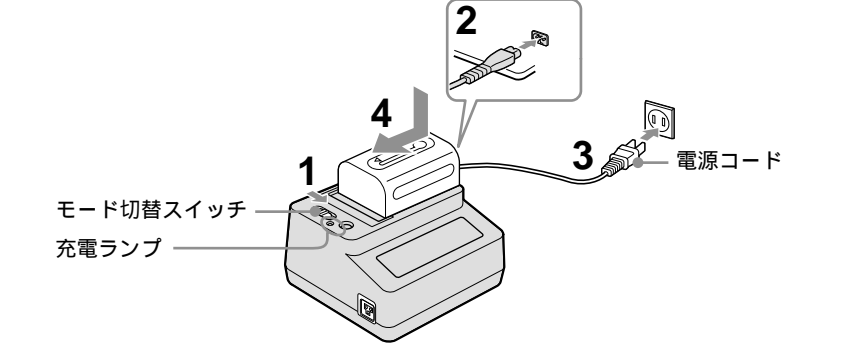
製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。
修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話のおかけ間違いにご注意ください。

電話： 0564-62-4979
受付時間：月〜金曜日 午前9時〜午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話される際に、本機の型名（ACCKIT-BCM5）をお知らせください。より迅速な対応が可能になります。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

▶ACアダプター／チャージャー（AC-VQ50）

各部のなまえ

表示窓の表示

バッテリーを充電する

1 モード切替スイッチを「充電」にする。

2 電源コードを本体につなぐ。

3 コンセントにつなぐ。

「ピーッ」という音がして、表示窓が点灯します。

4 バッテリーを取り付ける。

充電が始まると、表示窓のバッテリーマークが順番に点滅し、充電されるとバッテリーマークがすべて点灯します（**実用充電**）。さらに充電ランプが消え、バッテリーマークに「FULL」が表示されるまで充電を続けると、若干長く使えます（**満充電**）。

バッテリーマークの点灯

実用充電の終了	満充電の終了
	FULL

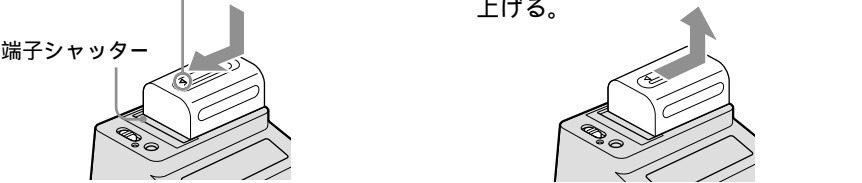
5 充電終了後、バッテリーを取りはずす。

バッテリーの取り付けかた

❶ **本機の上にバッテリーを置く。**
❷ **矢印の方向にバッテリーをスライドさせる。**
端子シャッターが完全に隠れるまでスライドしてください。

◀マーク側を端子シャッター側にあわせる。

端子シャッター

取りはずすとき
バッテリーを取り付けたときと反対の方向にスライドさせ、真上に持ち上げる。

ご注意
- バッテリーをつかんで、本機を持ち上げないでください。
- 端子シャッターには衝撃を与えないでください。バッテリーを取り付けるときなどは、ぶつけないよう、特にご注意ください。
- バッテリーを取り付けるときや、取りはずすときに指をはさまないようご注意ください。

主なバッテリーの充電時間

急速充電

バッテリーパック	NP-FM30	NP-FM50	NP-FM70/QM70	NP-QM71/QM71D	NP-FM90	NP-FM91/QM91/QM91D
満充電時間	約100分	約105分	約150分	約175分	約195分	約205分
（実用充電時間）*	（約40分）	（約45分）	（約90分）	（約115分）	（約135分）	（約145分）

* 本機を使用し、使いきったバッテリーを室温が25℃で充電したときの時間。

周囲の温度やバッテリーの状態によっては、上記の充電時間と異なる場合があります。

急いで使いたいとき
バッテリーは、充電が完了する前でも必要なときに取りはずして使えます。ただし、充電時間によってお使いになれる時間が異なります。

ご注意
- 充電中にモード切替スイッチを「ビデオ／カメラ」にすると、充電は中断されます。
- 充電ランプが点灯しなかったり点滅したときは、バッテリーがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。

充電中に何か異常があると、充電ランプが点滅し、表示窓に“充電異常”と表示されます。
詳しくは「故障かな？と思ったら」をお読みください。

充電の状況を確認する

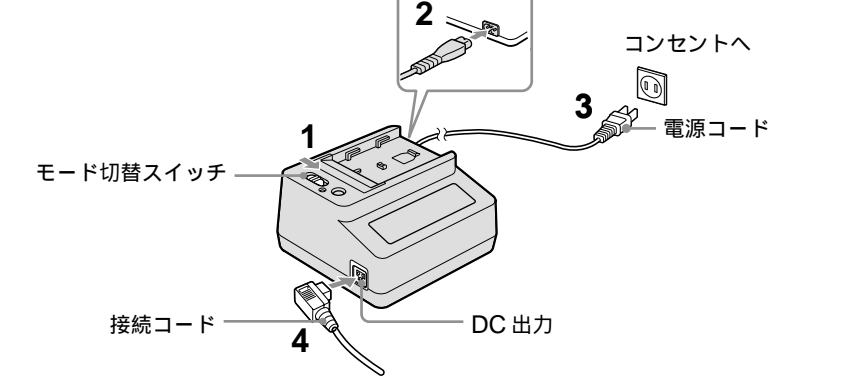
充電を開始してから約1分すると、表示窓に使用可能時間が表示されます。
使用可能時間はビューファインダーを使って撮影した場合の使用可能時間の目安です。液晶画面を使うと、使用可能時間は短くなります。
ご使用のビデオカメラによっては、「使用可能時間」が表示されないことがあります。詳しくは、ACアダプター／チャージャーの「使用可能時間表示についてのご注意」をお読みください。

充電中に表示切替ボタンを押す。
ボタンを押すたびに表示は次のように変わります。

- 充電中のバッテリーをお使いのインフォリチウム対応のビデオカメラに取り付けたときの使用可能時間（5分未満は表示されません。）
- 充電中のバッテリーの実用充電が終了するまでの残り時間
- 実用充電終了後は表示されません。
- 充電中のバッテリーの満充電が終了するまでの残り時間
- 満充電終了後は表示されません。

ご注意
- 新品のバッテリーで使用可能時間を表示するには、お使いのビデオカメラなどにバッテリーを取り付け、20秒程度ご使用ください。その後、本機に取り付け、充電を開始すると使用可能時間が表示されます。
- 表示時間は室温が25℃で充電したときの目安です。使用環境によって実際の時間と異なる場合があります。
- 以下のときは表示時間が「－－ －－」になることがありますが、故障ではありません。
  ー 使用可能時間が5分以下のとき
  ー 表示時間と実際の充電時間にずれが生じたとき（そのまま充電を続けてください。）
- 実用充電終了から満充電終了までは約1時間です。この間に本機からバッテリーを取りはずすと、次回充電するときの表示時間が実際とずれることがあります。
- 長時間使用していないバッテリーを充電する場合は、使用可能時間、充電終了時間の表示にずれの生じることがありますが、故障ではありません。この場合は一度満充電まで充電してください。正しい時間を表示できます。
- 満充電済みのバッテリーを取り付けると「満充電まで1時間」の表示が出ることがありますが、故障ではありません。
- 表示切換ボタンを押してから時間を表示するまでしばらく時間がかかることがあります。

コンセントにつないで使う

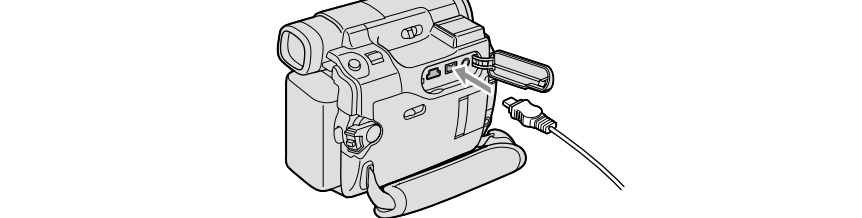
ご使用の機器（ビデオカメラなど）の取扱説明書もあわせてご覧ください。
ACアダプター／チャージャー（AC-VQ50）を使って屋内のコンセントから電源をとります。

1 モード切替スイッチを「ビデオ／カメラ」にする。

2 電源コードを本体につなぐ。

3 コンセントへつなぐ。

4 接続コードをDC出力へつなぐ。

5 ビデオカメラのDC IN端子カバーを開け、接続コードをDC IN端子につなぐ。

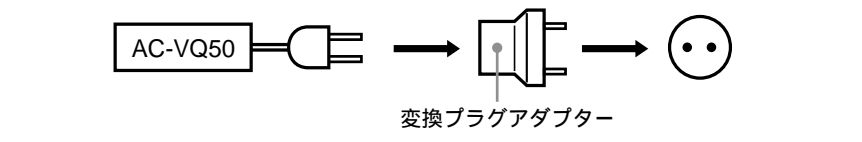
接続コードの向きについてはビデオカメラなどの取扱説明書をご覧ください。

ご注意
- ビデオカメラを使用中に、モード切替スイッチを「充電」にすると、ビデオカメラへの電源の供給は中断されます。
- ビデオカメラの使用中は、ACアダプター／チャージャーにバッテリーを取り付けても充電することはできません。
- ビデオカメラの映像が乱れるときは、ACアダプター／チャージャーをビデオカメラから離してください。

海外へお持ちになる方へ

ACアダプター／チャージャーAC-VQ50は、AC100–240V、50/60 Hzの範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですので、お出かけ前には旅行代理店などでお確かめください。

変換プラグアダプターがなくても使える主な国／地域

・日本	・プエルトリコ
・アメリカ	・ベネズエラ
・カナダ	・ホンジュラス
・ジャマイカ	・メキシコ
・パナマ	・リベリア　など

そのほかの国／地域については、旅行代理店でお確かめください。

本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

▶リチャージャブルバッテリーパック（NP-FM50）

バッテリーの上手な使いかた

充電について

使う前に充電してください。
充電後は使わずに保存しておいても、自然に放電しますので、使う前に充電することをおすすめします。

使用可能時間について

撮影予定時間の2〜3倍分のバッテリーを用意すると安心です。
次のようなときにもバッテリーは消耗するため、余裕を持って用意しておくと安心です。
- カセットを入れたり、取り出したりするとき
- スタンバイ状態にしているとき
- ビューファインダーから被写体を見て、構図やアングルを考えているとき
- 電源スイッチを「ビデオ」にしているとき

スタンバイスイッチをこまめに「切」にすると（スタンバイスイッチがない場合は電源スイッチを「切」にすると）バッテリーは長持ちします。
これによって画像が乱れることはありません。きれいなつなぎ撮りができます。

寒冷地では、バッテリーの使用時間が短くなります。
周囲の温度が低いと、バッテリーの性能が低下するためです。より長い時間お使いになるために、次のことをおすすめします。
- バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前にビデオカメラに取り付ける。カイロをお使いの場合は、直接バッテリーに触れないようご注意ください。
- 室温（10℃〜30℃）で充電する。

交換時期について

バッテリー残量がわずかになるとファインダー内や液晶画面に マークが出て、遅い点滅から速い点滅に変わります。
このときが上手な交換時期です。電源スイッチを「切」にしてから交換してください。

保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして、使い切ってから保管してください。
- バッテリーは湿度の低い、涼しい場所で保管してください。

お手入れについて

端子部はいつもきれいにしておいてください。
端子部に異物が入ってしまった場合は、先の細い柔らかい棒で完全に取り除いたあと、バッテリーの取り付け、取りはずしを数回繰り返してください。端子部の接触状態がよくなります。

知っていただきたいバッテリーの知識

バッテリーの寿命は？
使用回数を重ねたり使用時間が経過したりするにつれて、バッテリーの容量は少しずつ低下していきます。充分に充電したバッテリーを使っていても、 マークがすぐに点滅をはじめるような場合は寿命です。新しいものをお買い求めください。